

2016年10月号

10月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 241



## いきものたちの冬支度…

空を見上げると高い雲。10月に入ってから心地よい晴天が続きます。一方、山々からは初冠雪の知らせが届き、秋が足早に通り過ぎようとしています。湿原の花は姿を消し、実をつけ葉を落としていきます。夏鳥たちは旅立っていき、昆虫たちも子孫を残すのに必死です。動物も植物も、来る冬に備えます。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の植物・昆虫～



【ウメバチソウ】  
ニシキギ科 梅鉢草  
今年のウメバチソウはいつになく多くの花が咲きました。湿原に咲く最後の花として、来訪者を楽しませてくれました。



【マコミ (実)】  
ニシキギ科 真弓  
鮮やかな桃色の実が秋の風景の中でひととき目を引きます。熟すと中から赤い種子が顔を出し、野鳥たちの貴重な食糧となります。



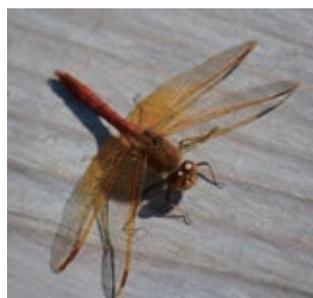
【ツルウメモドキ (実)】  
ニシキギ科 蔓梅擬  
鮮やかな赤色の仮種皮が特徴です。葉がウメに似ていますがその名のとおり、つる性で他の樹木に絡まって生長します。鶴居軌道跡で見られます。



【タヌキモ (越冬芽)】  
タヌキモ科 狸藻  
今年はほとんど花が咲かなかったタヌキモ。来年のための越冬芽をつけ始めました。来年はたくさん花が咲いてくれるといいですね。



【ミツバフウロ (果皮)】  
フウロソウ科 三葉風露  
本種の仲間は花を咲かせた後、棒状の果実を作ります。それが熟すと写真のように果皮の基部がめくれ、その勢いで種子を飛ばします。



【キトンボ】  
トンボ科 黄蜻蛉  
翅の基部が黄色を帯び、胸部に細かい毛が生えているのが特徴です。鶴居軌道跡の木道周辺で飛んでいます。

○表紙の写真 上:ハンノキ林 中右:ベニマシコ 中左:産卵中のハネナガキリギリス 下:ハンノキの実

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

ビジターセンター周辺では、夏鳥たちの姿を見る機会も段々と少なくなり、本格的な渡りのシーズンを感じるようになりました。とはいえ、晩秋となり木々の葉が枯れ落ち、上空や森の中の見渡しがよくなった分、野鳥観察には好都合でもあります。上空では群れて飛ぶ旅鳥のヒシクイやオオハクチョウが見られるようになり、冬の使者オオワシもまもなくやってくるでしょう。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出しています。お気軽にご利用ください。



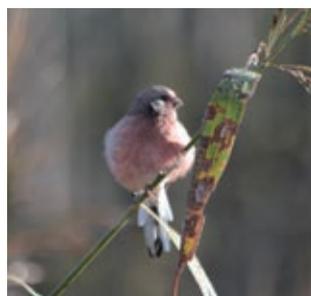
【キバシリ】 留鳥  
キバシリ科 木走  
カラ類に紛れて混群を作っています。樹木を上りながら、下向きに沿った嘴で樹皮の下を突き、器用に小虫などを捕まえます。



【シジュウカラ】 留鳥  
シジュウカラ科 四十雀  
全国的になじみ深いシジュウカラ。最近の研究では鳴き声を繋げて意味のある「文」を作り出していることも分かってきたとか。



【ノスリ】 留鳥  
タカ科 鷲  
トビの次によく見られるタカ科の野鳥で、トビよりややサイズは小さめです。白い見たと、腹部の腹巻のような模様が特徴です。



【ベニマシコ】 夏鳥  
アトリ科 紅猿子  
「ピッポ、ピッポ」と、VC周辺でもおなじみの鳴き声を聞かせてくれたベニマシコも、旅立ちの時を迎えています。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（9月15日～10月14日）※和名は五十音順

■アキノウナギツカミ■アメリカセンダングサ■イチゲフウロ■イヌタデ■イヌトウバナ■ウメバチソウ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオヤマハコベ■エゾトリカブト■エゾノコギリソウ■エゾノミツモトソウ■エゾヤマアザミ■エゾリンドウ■オオアワダチソウ■オオイヌタデ■オオバコ■オオバセンキュウ■オオヨモギ■オトギリソウ■カタバミ■カラフトイソツツジ（季節外れ）■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クルマバナ■コウゾリナ■コガネギク■ゴキツル■コハコベ■サラシナショウマ■サワギキョウ■シオガマギク■セイヨウタンポポ■セリ■タニソバ■ツリフネソウ■トウヌマゼリ■ナガボノシロワレモコウ■ナギナタコウジュ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン■ヒヨドリバナ■ヘラバヒメジョオン■ホザキシモツケ（木本）■ホソバアカバナ■ホソバノヨツバムグラ■ミズ■ミソソバ■ミツガシワ（季節外れ）■ミツバフウロ■ミツバベンケイソウ■ミツモトソウ■ムラサキツメクサ■メマツヨイグサ■ヤナギタンポポ■ヤマハギ（木本）■ヤマハハコ■ヨシ

※温根内周辺の花は10月中旬でほぼ無くなりました。通信の花情報も来週からお休みとなります。



### ☆☆☆季節外れの花が開花☆☆☆

今年の秋は、この時期には本来咲かない花が確認されました。ヨシ・スゲ湿原にミツガシワが数株、そしてミスゴケ湿原にカラフトイソツツジが1株開花していました。このような現象を「不時現象」と言います。8月の台風が暖かい空気を運んできた影響かもしれませんね。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（9月15日～10月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■マガモ■キジバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■トビ■ノスリ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■ココシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

## ☆☆☆無料ガイドウォークを実施しました☆☆☆

今年も夏季限定で、無料のガイドウォークを実施しました。

今年は指導員が木道入口付近で来訪者にお声かけをしてガイドウォークへの参加を促しました。参加者の中で事前告知を見た上で来られた方は少数で、ほとんどは当日お誘いした方でした。8月一杯までは夏休み期間ということから、道外（特に関東・関西圏）からの参加者が多くみられた一方、9月に入ると道内（主に釧路市内）の方の割合が若干増える傾向がありました。今夏は悪天候の日が多く、小雨の中を案内したり、場合によっては中止したりした日もありましたが、参加された皆さんは満足された様子で、「また来たい」というお声も多くいただきました。

来年以降も、釧路湿原の自然を深く楽しく知っていただけるよう工夫していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



## ☆☆☆新ビジターセンター建設工事、着々と進行中☆☆☆

6月から新しいビジターセンターの建設が始まっています。現在は基礎工事が終わり、徐々に建物の外枠ができています。オープンは来年の春の予定です。なお、現在はトイレも含め仮設での運営を行っています。来場者の皆様にはご不便をおかけしますが、どうぞご了承ください。



6/27



9/18



9/25

## ☆☆☆☆イベントのご案内（11月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪晩秋の湿原ハイク

〔日時〕 11月6日（日）10:00～12:00 〔定員〕 15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕 無料

〔場所〕 温根内ビジターセンター

花が終わり、何も無いように見える湿原で、様々な姿の個性的な植物を観察します。



○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪ムックリ（口琴）を作ろう

〔日時〕 11月5日（土）13:00～15:00 〔定員〕 15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕 300円（材料費）

〔場所〕 塘路湖エコミュージアムセンター

### ～冬季開館時間について～

冬期間（11/1～3/31）は開館時間に変更になります。冬季開館時間は10:00～16:00です。ビジターセンターご利用の際にはご注意ください。なお、冬期間は日没が早いので、木道をご利用の際は時間に余裕を持って暗くなる前にお戻りください。街灯等は一切ありませんので、真っ暗になり危険です。

.....  
月刊 温根内通信 No.241

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kk946/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：10:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料

.....